|  |
| --- |
| **砂防学会誌投稿原稿　刷り上がりイメージ**著者名（和）は、明朝，サイズ10.5 砂防　太郎\* |

タイトル（和）は、太明朝，サイズ10.5

上25 mm（掲載号ヘッダーまで15mm）

下25 mm（頁番号フッターまで15mm）

左右余白18 mm

**１．はじめに**

このフォーマットは，砂防学会誌に投稿する場合に著者が刷り上がりイメージを把握し，図表等の大きさ（文字の見やすさ）と配置，超過ページの有無などおおよその状態を知ってもらうためのものです。カメラレディー原稿を作成提出してもらうものではありません。掲載決定後，実際の印刷に当たっては，印刷会社が提出された電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がりイメージはその際の見本として使用しますが，印刷段階でこのイメージと異なる（図表の位置が多少変更になるなど）こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイアウトして，著者校正を行います。したがって，最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

大見出し（章）は太ゴシック，サイズ10.5。１行空けてから大見出し（章）を記す。本文は25字詰め，明朝，サイズ9。

原稿の作成にあたっては，「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して，適切な体裁の原稿の作成をお願いします。図・表・写真を含めた原稿を「刷り上がりイメージ」として作成し，そのコピー （論文・報文・ノート・総説は5部，その他は3部）を提出して下さい。

**２．原稿体裁**

刷り上がりイメージはA4サイズ，余白は上下15 mm，左右18 mmとします。1ページ目の表題等の構成は原稿種別毎に異なりますので，適切なテンプレートをご利用下さい。

報告，新刊・文献紹介，ひろば，随想，ニュース，訂正などの原稿は次の構成とします。

1) 表題

2) 著者名・所属（全著者を記載)

3) 本文（和文または英文のいずれか）

4) 引用文献または参考文献

表題等の下から，本文を始めて下さい。本文は25字×50行×2段組とします。図（写真含む）・表は本文の適切な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。

原稿の刷り上りページ数は以下のとおりです。報告は4ページ以内（超過ページを含めて最大8ページ）。新刊・文献紹介と訂正は１ページ以内，ひろばは2ページ以内とします。

ページ数の詳細や投稿者が負担する費用については，「砂防学会誌投稿要領」をご確認下さい。

**報告・ひろば等用**

　採用が決定した原稿に対しては，「掲載予定表」を送付します。掲載決定後，原稿（本文，電子化された図表写真）電子データを提出していただきます。

脚注について、和文は明朝、サイズ7.5、

**２. 本文の刷り上がりイメージ**

2ページ以降は本文，図表を適宜組み合わせて入力して下さい。

2.1　図表および数式

　論文などの刷り上がりイメージの書き方を参考にして下さい。

2.2　見出し，箇条書，句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

　　第1順位（章）　１．　２．　３．　･･･

　　第2順位（節）　1.1　2.2　3.3　･･･

　　第3順位（項）　1.1.1　1.1.2　1.1.3　･･･

　　箇条書き　　　　1)　2)　3)　･･･

　見出しの後は改行し，全角1字空けて本文を書き始めます。なお，第1順位（章）の前は1行空けて下さい。

　句読点は，カンマ（，）と丸（。）を用いて下さい。なお，カッコなどには全角1字分を充てて下さい。

2.3　引用文献・参考文献

　文献を引用する場合，引用文献方式と参考文献方式で形式が異なりますので注意して下さい。

2.3.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば（芦田ら，1978）と書き，末尾に次の形式で記載します。

芦田和男・高橋保・水山高久（1978）：山地河川の掃流砂量に関する研究，砂防学会誌（新砂防），Vol.30，No.4，p.9 -17

2.3.2 参考文献方式の場合

参照箇所を上付き片括弧で示し，末尾に次の形式で記載します。

1）堀田紀文・厚井高志：山地からの土砂流出の変遷の実態 －流域の土砂貯留量の変化に着目して－，砂防学会誌，Vol.63，No.5，p.52 -61，2011

日本語の場合「・，：－」等は全角、巻号頁の「. - /」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる；例）「: title, Vol.1, b : c」。webページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照してください。

脚注は，フォント明朝，サイズ8